

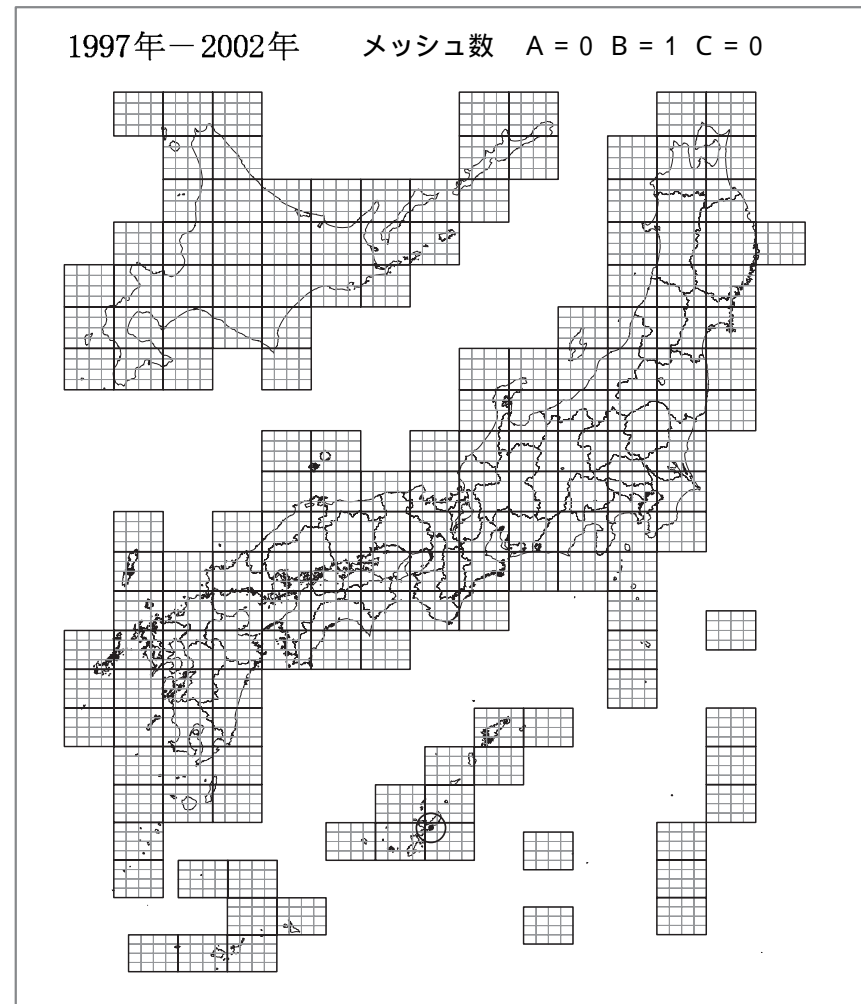
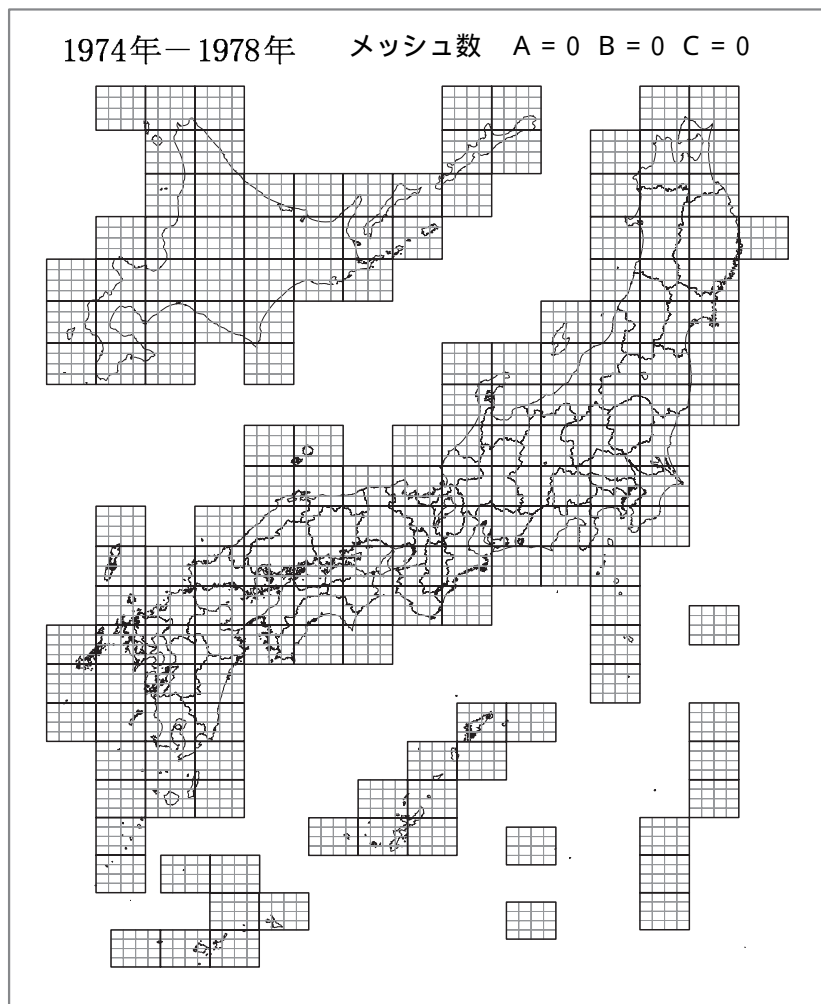
コシジロキンパラ (外来種)

(分類) スズメ目カエデチョウ科 *Lonchura striata*

(環境省 RDB 種) -

(分布) インド周辺・中国南部・台湾原産。

(生態) 小さな群れで行動する。平地から山地の農耕地・草地・河川敷などで生息し植物や穀物の種子を食べる。



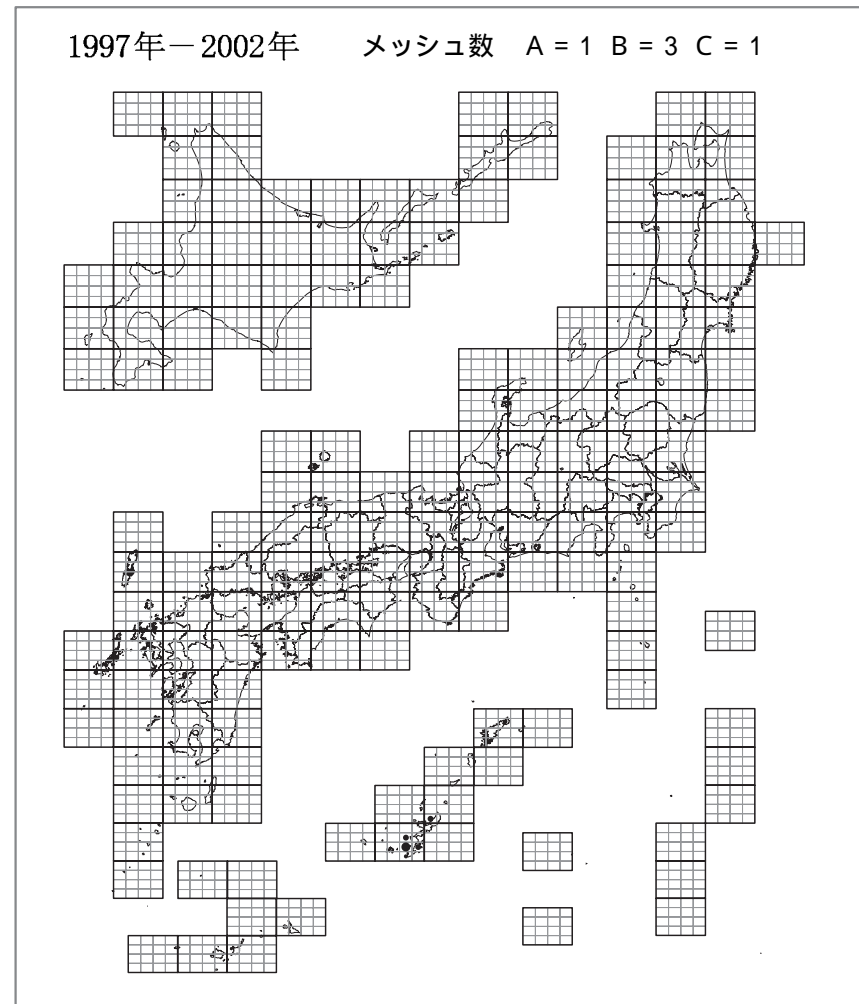
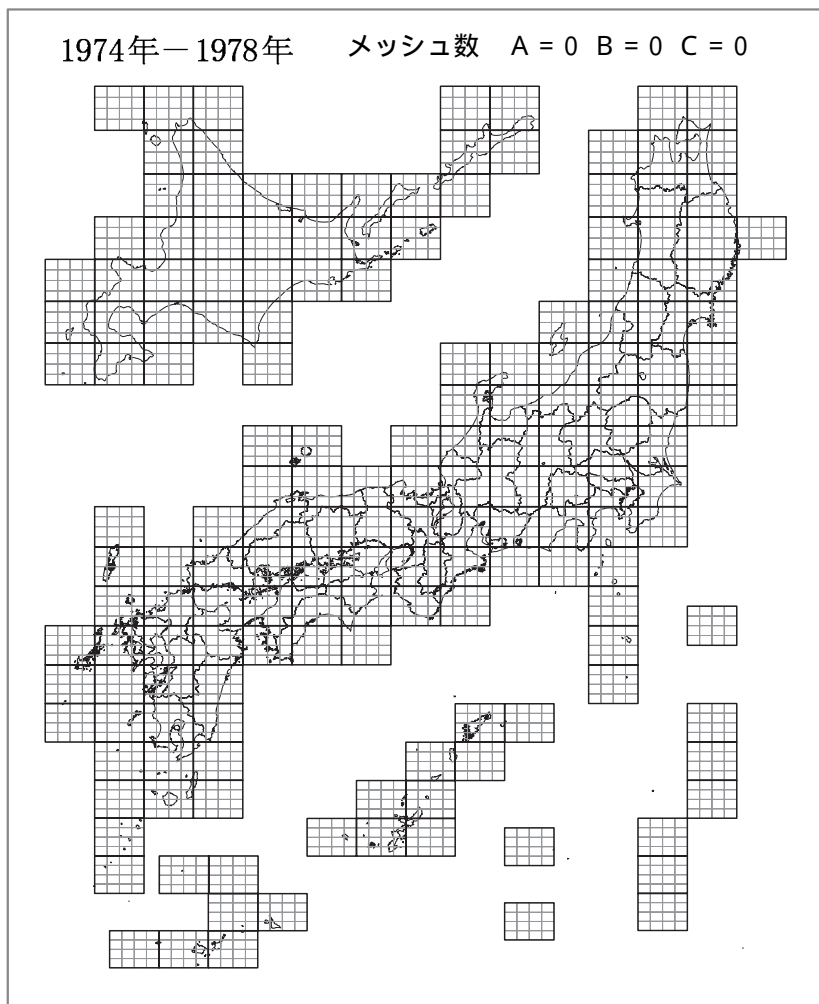
シマキンパラ (外来種)

(分類) スズメ目カエデチヨウ科 *Lonchura punctulata*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 沖縄島に定着。アジア東南部から南部原産。

(生態) ビルマでは平地から低山の農耕地付近の林縁や灌木林にすみ、カエデチヨウ科の中では比較的乾燥した環境に適応している。
約4～6卵を産む。開けた場所の地上でおもに草本の種子を食べる。



ギンバラ (外来種)

(分類) スズメ目カエデチヨウ科 *Lonchura malacca*

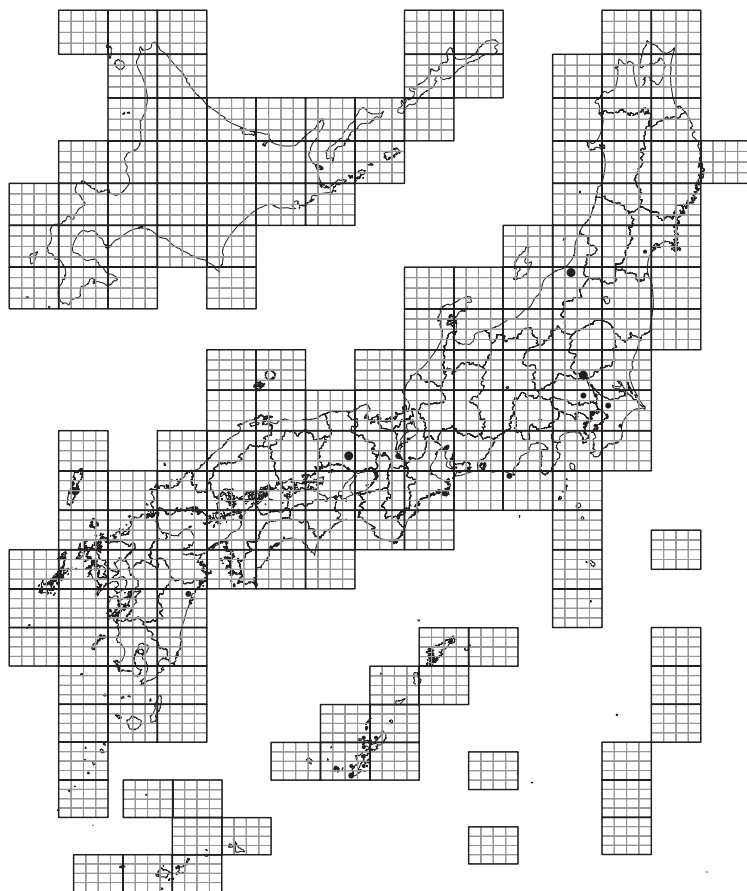
(環境省 RDB 種) -

(分布) 関東地方などに定着。インド・スリランカ原産。

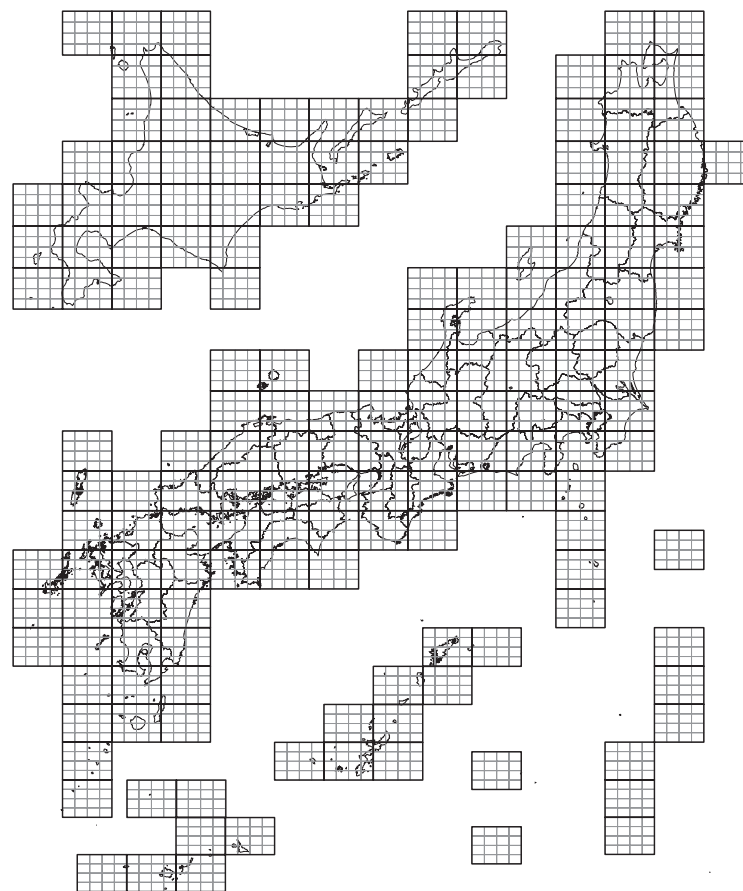
(生態) アシ原や湿草原、サトウキビ畑などにすみ、高茎草本の茎に営巣する。5 ~ 7 卵を産み、雌雄交代で 12 ~ 13 日程度抱卵する。

3 ~ 4 週間で巣立つが、その後も 1 ~ 3 週間は巣に戻って眠る。

1974年—1978年 メッシュ数 A = 3 B = 6 C = 10



1997年—2002年 メッシュ数 A = 0 B = 0 C = 0



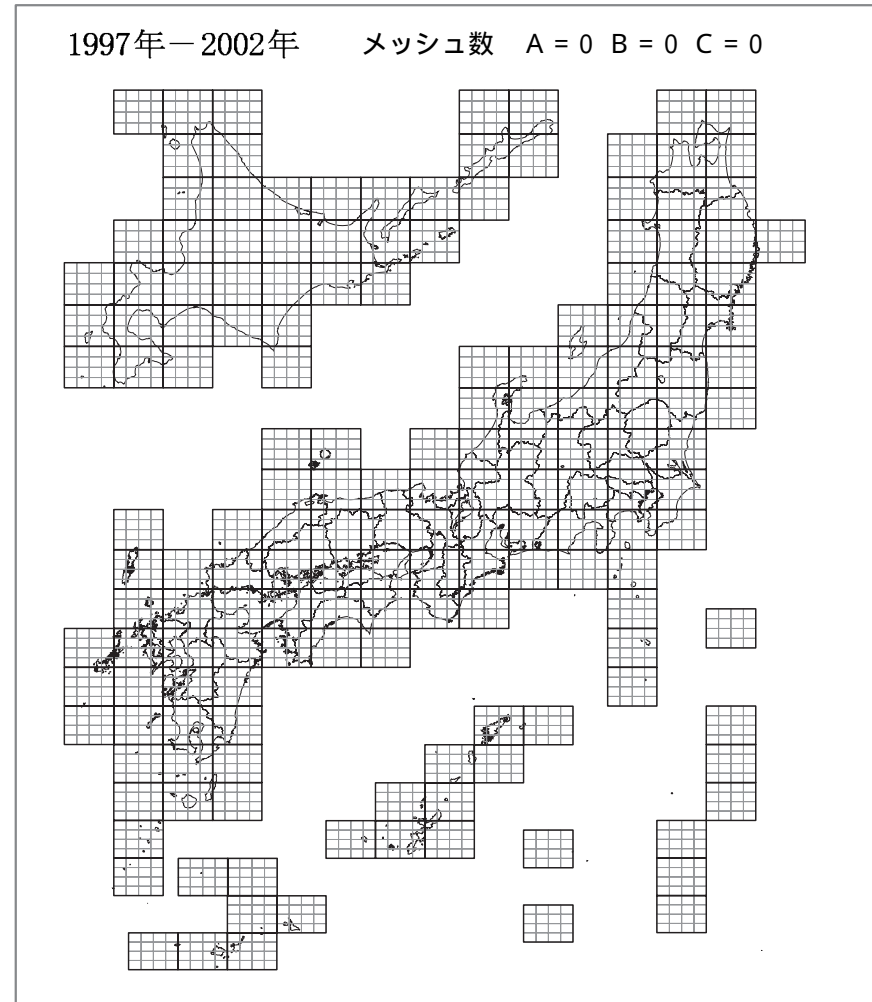
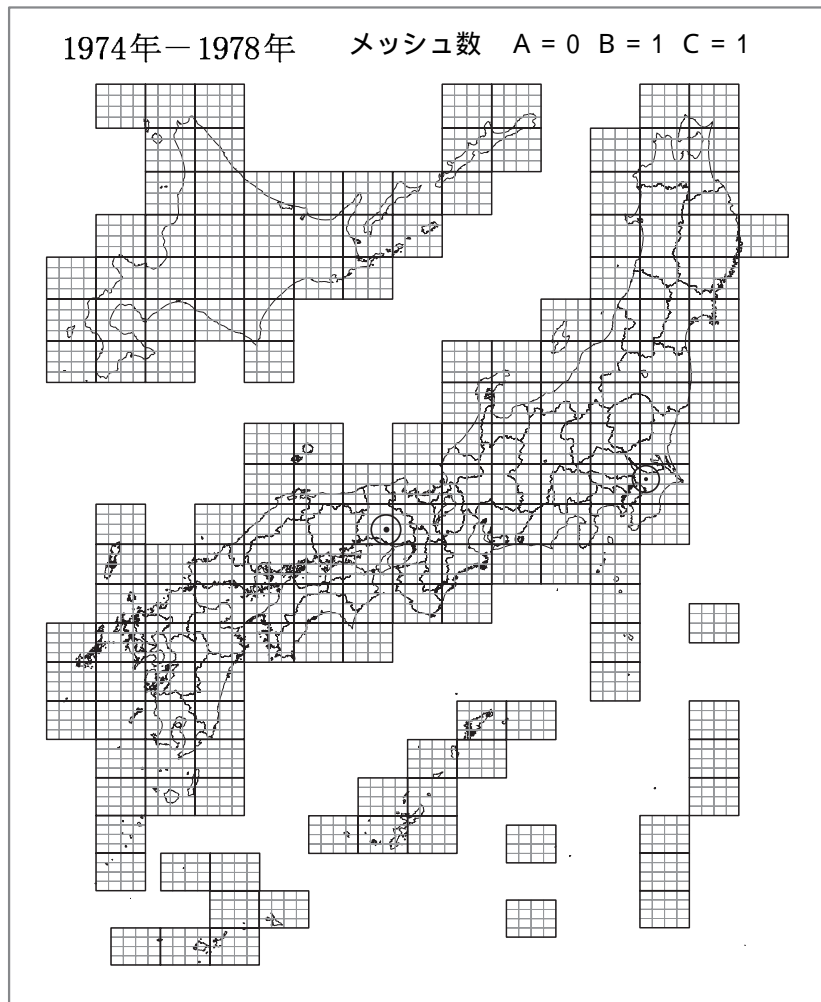
ヘキチョウ (外来種)

(分類) スズメ目カエデチョウ科 *Lonchura maja*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 関東地方などに定着。東南アジア原産。

(生態) 草地、農耕地、公園などにすみ、草の種子を採食する。



ブンチョウ (外来種)

(分類) スズメ目カエデチヨウ科 *Padda oryzivora*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 関東地方や近畿地方などに定着。ジャワ島およびバリ島原産。

(生態) 疎林や藪のある草原、住宅地などにすみ、地上で草の種子を食べる。樹洞や建物の穴の中などに営巣し、草で半球形または球形の巣をつくる。4～6卵を産む。日本には、江戸時代から飼い鳥として入っている。

